

アカデミック・ジャパニーズ・ジャーナル発刊の辞

2009年6月15日

アカデミック・ジャパニーズ・グループ代表幹事
門倉正美

アカデミック・ジャパニーズ・グループ (AJG) は、2004年1月に日本語教育学会初のテーマ研究会として設立されて以来、5年間で17回の研究会活動を蓄積してきている。本誌『アカデミック・ジャパニーズ・ジャーナル (AJ ジャーナル)』は、「アカデミック・ジャパニーズ」をめぐる AJG メンバーの研究教育活動をさらに活性化するために発刊された。

当初は、査読制度を設けて、若手研究教育者の投稿を促そうと考えていたが、諸般の事情で「査読」ではなく「アドバイス」をする「アドバイザー制度」をとることになった。この制度のもと、今回は、編集委員と協力してアドバイスにあたる人材を若手研究教育者から得て、他のメンバーの論考を的確にアドバイスすることによって、アドバイザーもともに成長することを目指した。

創刊号では、研究論文3編、実践報告3編、研究ノート1編、活動報告1編と、いずれも力のこもった論考を江湖に問うことができた。論考に結実した活動と思索は、公表されることによって完結するのではなく、その<作品>がさらに書き手および読み手の論考を誘うことが望ましい。ウェブ雑誌であることを生かして、今後、<作品>にたいする、さまざまな観点からの<批評>が展開されるような場を確保したいものである。

「アカデミック・ジャパニーズ」は、開拓されるべき研究教育領域を廣大にもつ沃野であり、熱意と創意にあふれた書き手を求めている。